

船 井 陸 協 通 報

第24回定時総会を開く

平成18年3月18日に南丹市園部町の三亀楼において、船井郡陸上競技協会第24回定時総会を開催しました。総会では、平成17年度の船井郡陸協の事業総括として、役員改選による新体制で『よりよい協会を目指す』を目標に協会運営を進めた結果、「強化部を中心に陸上教室の充実などに努め、特に小・中学生をはじめとする陸上競技者の拡大と強化にあたり、南丹市・船井郡地区から京都府下の大会において優秀な成績を記録した多くの競技者が出たことは、陸上教室が大きく成長してきたと確信する。」との関理事長からの総括報告の後、それぞれの部長から平成17年度における事業実績報告が行われました。



続いて、会計及び監査から平成17年度の収支決算報告と監査報告が行われ、いずれも承認されました。

その後、平成18年度の船井郡陸上競技協会事業計画としての競技会日程や内容説明並びに収支予算が提案され、前年度以上の事業成果を期待して、全員一致で決定されました。

主な平成18年度の事業（競技会）は、以下のとおりです。

主催競技会

No	期 日	競 技 会 名	場 所
1	18. 4.29 (火)	第23回船井郡小学生陸上競技教室兼記録会	丹波自然公園
2	18. 4.29 (火)	船井郡陸協 春季強化記録会	丹波自然公園
3	18. 7. 7 (土)	第25回船井郡陸上競技選手権大会	丹波自然公園
4	18.10.26(日)	船井郡陸協 秋季強化記録会	丹波自然公園
5	19. 3.21 (日)	船井郡陸協 中長距離記録会	丹波自然公園

中村武司副会長が春日章を受賞

船井郡陸上競技協会の中村武司副会長が、近畿陸上競技協会から平成17年の春日章を受賞されました。

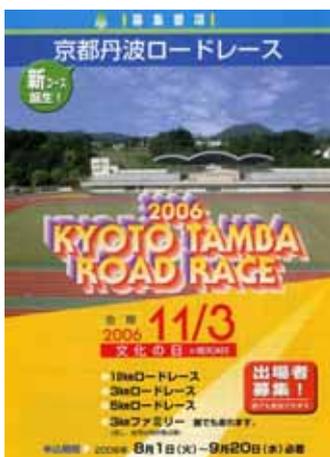
この章は、近畿における中学生や高校生競技者の指導者並びに18歳未満の勤労競技者の指導者として、特に功労のあった者に対して贈られる価値ある章です。

船井郡陸協では、第24回の定時総会にあたり、中村武司副会長から春日賞受賞の報告をいただき、協会からは、お祝いの花束を送るとともに大きな拍手でその功績を称えました。



2006京都丹波ロードレースを主催!

全国のロードレースファンに親しまれ、毎回多くのランナー達が集う「京都丹波高原ロードレース」が、第24回大会をもってその歴史の幕を閉じることになりました。



船井郡陸上競技協会では、昭和57年の第1回大会にあたる丹波高原マラソンから大会運営に携わってきた経緯があり、このまま口丹波地域における全国規模のロードレース大会の消滅を回避できないかとの思いから、新たな大会として10kmロードレースを核とする『京都丹波ロードレース』大会を主催し、開催することになりました。

昨年まで開催されていた京都丹波高原ロードレースと同じく、京都府立丹波自然運動公園を発着点とする10kmロードレースをメインとして5km、3kmのロードレースも同時に開催するものです。

記念すべき、新たなスタートの大会が成功裡に終わり、次年度以降も引き続いて多くの参加者を迎えて開催される大会へと発展することを期待しています。



18年度の競技会を開催・運営!

4月29日に第23回小学生陸上競技教室兼記録会と船井郡陸協春季強化記録会、7月17日には第25回船井郡陸上競技選手権大会の主催競技会を丹波自然運動公園陸上競技場で実施しました。また、主管競技会（運営協力含）では、4月23日に開催された第9回日吉ダムマラソンを皮切りに、5月には第59回両丹高校対校陸上選手権大会、南丹・船井中学校陸上競技選手権大会、6月に第59回の口丹波中学校陸上競技選手権大会と中丹中学校陸上競技選手権大会、8月に第39回両丹高校学年別選手権大会、第43回口丹高校総体陸上競技の部、9月に第22回全京都車イス駅伝大会、10月には京都府小学生陸上北部丹波大会を行ってきました。



船井陸協トピックス

今年度も強化部が中心となりジュニア層の競技者人口の増加と競技力の向上を目的に、小・中学生を対象とする陸上教室を開催しています。

教室の参加者から、7月29日に西京極陸上競技場で開催された第3回京都府小学生クラブ対抗陸上競技大会では、女子6年生100mで胡麻郷小学校の藤村葵さんが優勝し、男子5年生100mで三ノ宮小学校の上田輝くんが2位に入賞しました。また、10月29日に西京極陸上競技場で開催された第2回京都府小学生陸上選手権でも胡麻郷小学校6年生の藤村葵さんが、100mで13秒63の好記録で優勝、園部小学校6年生の滝村詩織さんが2位に入賞し、女子400mリレーでは園部小学校チームが2位に入賞しました。



記録ボックス

南丹市・船井郡で活躍する
選手の記録を紹介します。

第 37 回ジュニアオリンピック

10月27～29日に神奈川県横浜市の日産スタジアムで開催された第37回ジュニアオリンピックにおいて、園部中学校3年生の前田悠志くんがA男子200mで22秒89の記録で5位に入賞しました。また、前田くんは同大会で男子共通4×100mリレーの京都チーム第2走者としても競技に出場し、43秒45の記録で5位に入賞しました。

第 39 回近畿高等学校陸上競技対校選手権

園部高校の野中 直道くんが2年ハンマー投げで優勝

9月15・16日に鴻ノ池陸上競技場で開催された第39回近畿高等学校陸上競技対校選手権大会において、園部高校2年生の野中直道くんが2年ハンマー投で53m10の記録で優勝しました。また同大会では、男子2年円盤投で園部高校の宮木淳平くんが2位に、2年ハンマー投で園部高校の笠原孝夫くんも2位に入賞しました。

第 42 回近畿定通制高校総体

北桑田高校美山分校の中嶋 陽くんが5000mで優勝

10月29日に山城総合運動公園陸上競技場で開催された第42回近畿高等学校定時制通信制課程体育大会陸上競技の部において、北桑田高校美山分校4年生の中嶋陽くんが5000mで17分12秒61の記録で優勝し、2000mSCでも2位に入賞しました。また同大会では、1年生の矢野誠也くんが円盤投で2位入賞、1年生の原田亜紀さんが100mHで2位に入賞し、3年生の名古祐平くんも三段跳で3位に入賞しました。

第 40 回京都府高等学校 Jr 陸上競技対校選手権

10月14・15日に西京極陸上競技場で開催された第40回京都府高等学校ジュニア陸上競技対校選手権において、園部高校2年生の宮木淳平くんが円盤投で52m33の大会新記録で優勝し、同じく園部高校2年生の野中直道くんがハンマー投で54m45の記録で優勝しました。

各競技会では、審判員が不足しています。ご都合が付き審判員の方は、審判協力のほどお願いいたします。